



すっきり委員会

整理・整頓・清掃・安全の徹底で
全力を出せる環境作り

1月18日(日)
天竜浜名湖鉄道 岩水寺駅にて
雲一つない晴天の中
ボランティアで草取りに
お伺いしました。
しかし冬ということもあり
雑草は見当たりませんでした。
次回、春には頑張ります！



今回も参加してくれた社長の愛犬
ゆめちゃん♪



【今益】

働く仲間委員会

仲間を増やし、多くの人が就職希望するような
活気あふれる企業を目指す



【堀内】

インディード求人で結構の人数の方が応募をして来てくれるようになりました。ほとんどの方は問題なく面接に至ります。時々、連絡が付かなくなる人がいます。こちらからの執拗なまでの確認は差し控えています。約束を反故（破る）ととても警備員として、この先はやって行かれないのだろうと思いません。約束は他者にも自分にも決め事ですから、守りたいものです。

わいがや委員会

メンバー全員で助け合い、
楽しくワイワイと活発な活動を行う。
期限や日程厳守の活動。

1月16日(金)に
誕生日のプレゼントを
お渡しました。
(対象者 浜松2名)



DM活動報告

『2026年 午年』 新しい一年の幕開けです。



【渡邊】 【橋本】

年末年始は如何お過ごしましたか

業務に就いて居られた方、休暇を送られた方々等スタイルは様々だったと思いますが新しい年を迎える2026年への英気を養われたことだと思います。

世界は今新しい秩序を模索する時代となり またAIは単なるツールではなく企業の基幹機能として認識されるようになりました。取り巻く環境は日々目まぐるしく変化していますが、こういう時こそ「目標(夢)」を抱き自分自身の立ち位置を見つめ直してみてください。目標に立ち向かっていく姿勢こそが夢の具現化への原動力になると思います。

2026年の干支は丙午です。
丙午はエネルギーと行動力の象徴とされています。
この一年、力強く前進していきましょう！

この一年が皆さまにとって
実り多き一年となりますよう
また健康で過ごせることを祈念致します。

DM 渡邊



写真は佐鳴湖からの初日の出です。

佐鳴湖漕艇場から厳かに走り出したヨットが朝日に映えとても美しく穏やかな気持ちで心新たに新年を迎えることが出来ました。

また、今年成人を迎えた若者達。未来へ向けジャンプ！

みんな知って委員会

業界・業務改革で警備業のイメージを変える。
安全戦隊ドリームレンジャーの創設と公演で
警備業のイメージを変える



【池内】 【高橋】

新春の街を磨く、感謝の第一歩

新しい年を迎え、寒さはこれからが本番。朝の冷え込みが身に染みる季節となりました。

1月は気持ちを新たにするスタートの月。

澄み渡る冬の空気のように、街も美しく整えて、清々しい気持ちで一年を歩み始めたいですね。

資格者いっぱい委員会

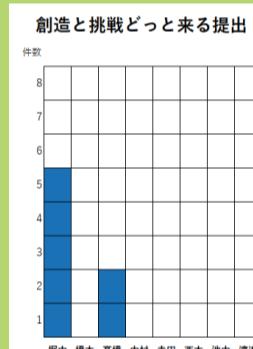
資格は身を助く!!
努力して前進しましょう



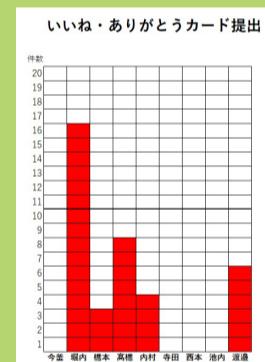
【堀内】

警備業の検定資格は、交通誘導、雑踏警備、施設警備他があります。国の登録講習機関として先発の一般社団法人特別講習事業センター（全国警備業協会の流れをくむもの）と数年前にできたNPO法人警備人材育成センターが大きなところではあります。年始の挨拶状でA4サイズの表裏のものが後者の警備人材育成センターから会社に送られてきました。当社がよく利用するということもありますが、やはり、営業に力を入れていることがわかります。何もないで仕事が降ってくるわけでもなく努力をしているということがわかるから、好感を持てるのです。

提案ドットくる



ありがとうカード



【寺田】 【西本】



【内村】

情報の「真偽」から「心の平穏」へ

選挙期間中に溢れる情報の濁流。中日新聞(令和8年1月27日出典)が挙げた「発信源」「根拠」「関連情報」という三つのチェックポイントは、私たちがフェイクニュースに惑わされないための強力な盾となります。しかし、この盾が必要なのは、なにも政治の世界だけではありません。

警備の現場と「客観性」

警備の仕事において、現場で入ってくる「誰かがこう言っていた」「あそこでトラブルが起きているらしい」といった情報は、時として混乱を招きます。

・発信源：それは直接見た人の言葉か？

・根拠：状況証拠は揃っているか？

・関連情報：他の隊員やカメラの映像と食い違いはないか？これらを冷静に照合する習慣は、確実な安全確保に直結します。

人間関係における「ファクトチェック」

「感情の揺れ」もまた、自分の中での「情報の誤認」から始まることが多いのではないでしょうか。

・相手の何気ない一言を、自分のフィルターで「攻撃」と改変して受け取っていないか。

・「嫌われている」という思い込みに、客観的な根拠はあるか。

・相手の状況(体調や多忙さ)という関連情報を無視して、自分の感情だけで判断していないか。

SNSの投稿に一喜一憂するように、私たちは日々の対人関係でも「情報の一次ソース」を見失いがちです。

「冷静に立ち止まる」ということ 感情が波立ったとき、それは心の中の「ファクトチェック」が必要なサインかもしれません。情報を精査するように、自分の心に湧いた感情の「出所」を確かめてみる。それだけで、不要な衝突や自己嫌悪を避けることができるはずです。